

# 福島第一原子力発電所3号機原子炉格納容器ガス管理システム配管の一部鋼管化・制御盤改造に伴うシステム停止について

< 参考資料 >  
平成25年1月28日  
東京電力株式会社

## < 作業内容1：ダクト鋼管化 > ダクトホースで構成されている箇所の鋼管化

現状：タービン建屋1階では、3カ所にダクトホースを用いており、損傷のリスク有り。

対策：人が容易に立入可能で損傷リスクの高い2カ所（給水加熱器室出入口）を鋼管化の上、配管の配置を変更。

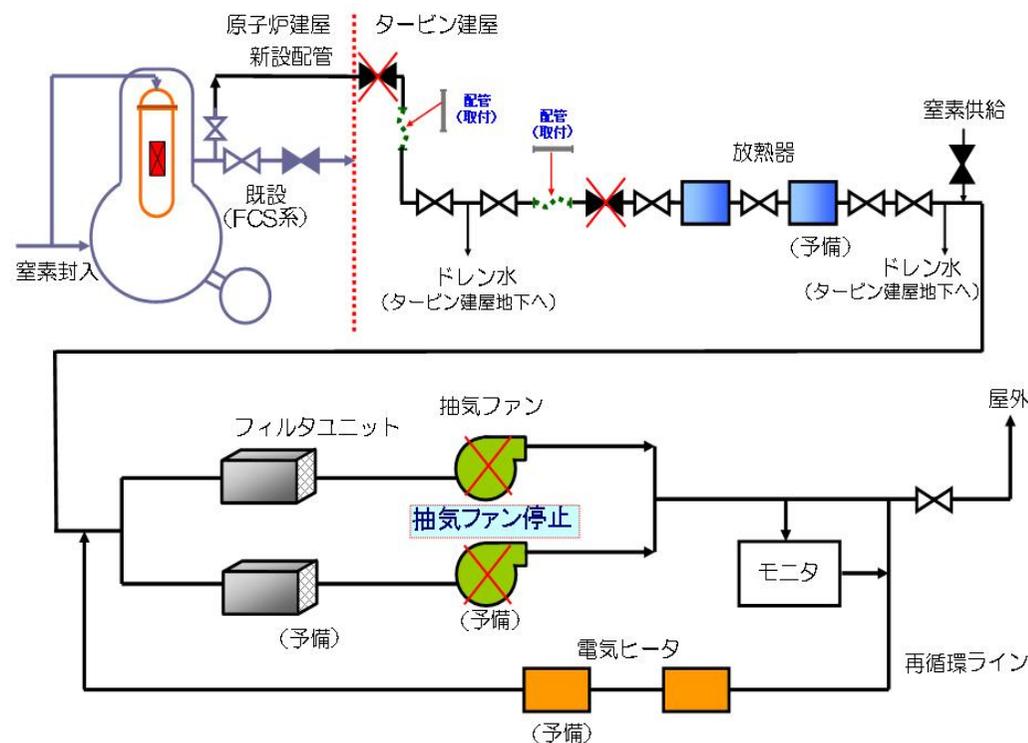
※原子炉建屋は高線量のため、タービン建屋2階は作業での立入頻度が少ないため実施しません。

## < 作業内容2：制御盤の改造 > 抽気ファンが両系停止した際、免震重要棟への一括警報表示機能を追加

現状：誤操作等で抽気ファンが両系停止した場合の警報機能がない。

対策：免震重要棟への警報表示に「抽気ファン両系停止」を追加。および現場制御盤に警報を表示させる。

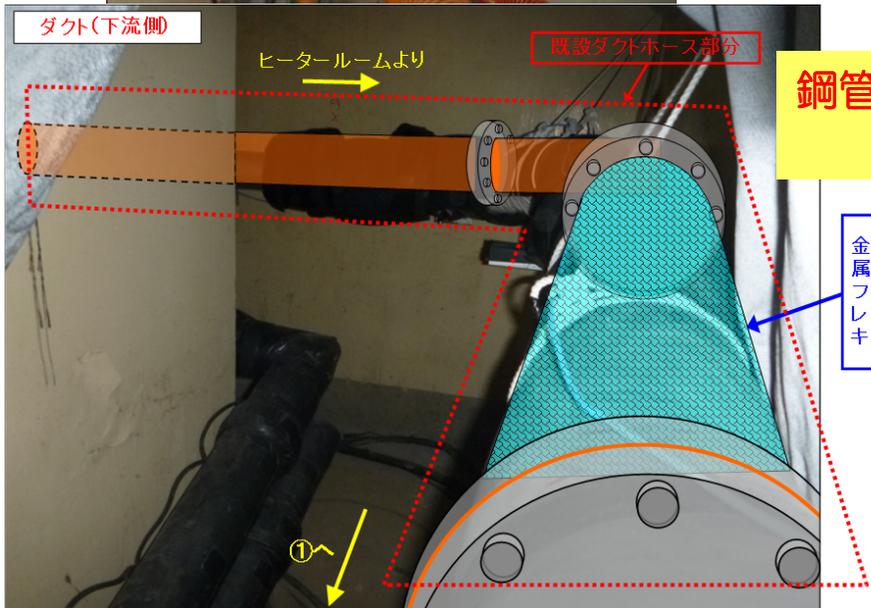
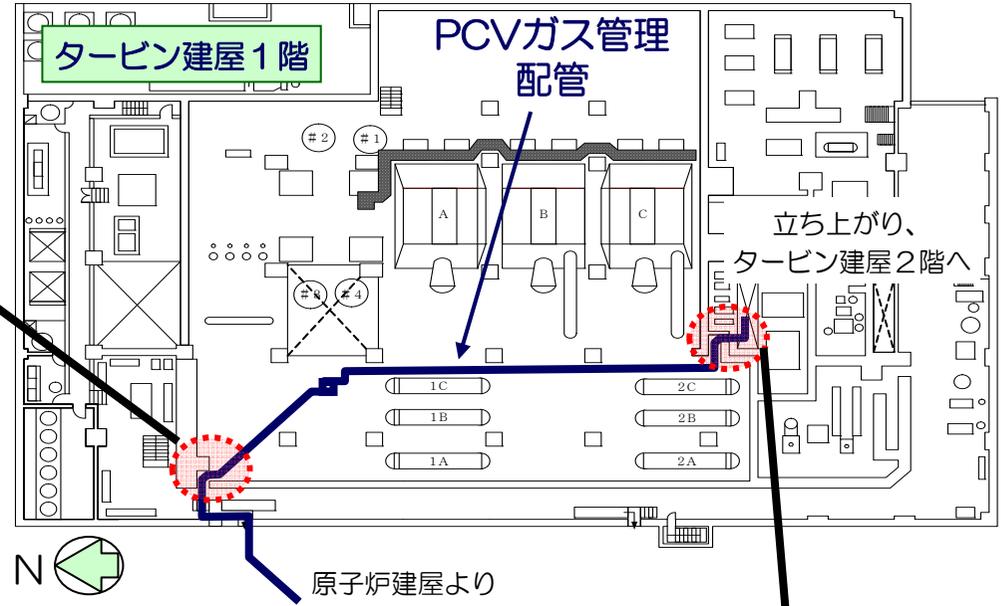
上記2つの作業は原子炉格納容器ガス管理システムの停止が必要となるため、時期を合わせ、平成25年1月29日停止予定



原子炉格納容器 (PCV) ガス管理設備概要

◆ 作業の実施にあたり、一時的に原子炉格納容器 (PCV) ガス管理システムからのPCV排気が停止するため、保安規定第143条に定める運転上の制限「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器」の「1チャンネルが動作可能であること」を満足しなくなることから、保安規定第136条を適用し、計画的に作業を実施する。

# <ダクト鋼管化箇所>



鋼管化に併せ、ルート変更により  
通行性・作業性を向上

